

新宮山彦ぐるーぷ第1878回

天台寺門宗立宗一千百五十年慶讃法要並びに祝賀会参席

◇実施日：平成28年5月29日(日)午前11時から 晴後曇
◇参加者：玉岡憲明、川島 功。 2名。

天台寺門宗は。いまを去ること一千五十年前、貞観八年(八六年)五月二十九日、曩祖・知証大師円珍和尚の業績が広く認められ、国家からその教法を正式に認められる伝法公験(でんぼうくげん)証明書が発給され、本宗がこの日を以って始まったとされている。

知証大師の遺徳を讃仰し、その法脈が絶えることなく継承されてきた寺門の高僧たちを慶讃する法要が、園城寺(三井寺)において奉修されることになり、新宮山彦ぐるーぷに献香のご案内があり参席した。

新宮6時発、土山SAで休憩後、園城寺に9時35分着。受付を済ませ、勸学院でお茶の接待を受け、10時半に金堂内に着席。総奉行の福家俊彦・権大僧正(執事長)が玉岡さん労いに御挨拶に来られた。前猊下の奥様は今年3月22日にご逝去されたとの事、御冥福をお祈り致します。



法要前金堂にて



式衆の入堂前整列



大導師・福家英明猊下

午前11時から第163代長吏猊下福家英明・大導師のもと式衆の出仕により庭儀大曼荼羅供が執り行われ、廠かで朗々たる聲明(しょうみやう)が延々1時間強にわたり三井寺金堂内に響き渡り、三井寺の晩鐘で奉修が終了し、村上宗務総長のご挨拶後、天台宗木ノ下総務総長、武村正義衆議院議員等の祝辞があり13時25分に慶讃法要が終了した。

祝賀会場の天津プリンスホテルへ車で移動し13時40分着。

14時20分、約270名が列席して式次第開始。

園城寺・福家英明猊下のご挨拶後、天台寺門宗関係者の来賓挨拶後、鏡割りが行われ14時50分開宴した。

知証大師は、天台宗座主になられていますが、教義布教する中で紆余曲折があつて、天台宗(比叡山延暦寺)、天台寺門宗(園城寺)、天台真盛宗(西教寺)を総本山とした天台宗三派に分かれましたが、一致協力できる体制になりつつあるとのことだそうです。

福家俊彦執事長に中座のご挨拶をして、16時15分会場を辞して、小雨降る中20時20分無事帰新した。(川島 記)



三井寺晩鐘を撞く



祝賀会会場



登壇者による鏡割り